

豊中市議会議員(市民派・無所属)

# 福岡まさき

平成20年7月 後援会事務局発行

市政だより

五月定例議会



## 平成20年度の議会体制決定(議長、各議員の所属委員会)

### 「新政とよなか」より議長誕生

豊中市議会5月定例会が16日～23日まで開催され、選挙の結果、議長に大町裕次議員が2人の候補を大差で破り当選しました。(36人中1名欠席)

候補者氏名	所属会派	期	得票数	結果
大町裕次	新政とよなか	6	27	当選
山本正美	共産党	5	6	
坂本保子	無所属	2	2	

#### ※ 副議長 井上和子(公明)

大町新議長は現在6期目であり、私と同じ「新政とよなか」に所属しています。与党会派にありながら是々非々の立場で市政改革、議会改革に取り組んできた仲間であり、数々の実績を残しています。

指導力、バランス感覚に優れ今後の活躍が大いに期待されます。

### 総務常任委員会 所属となりました

#### 《当委員会の担当部局》

- ・行財政再建対策室
- ・選挙管理委員会
- ・政策企画部
- ・公平委員会
- ・農業委員会
- ・危機管理室
- ・他の常任委員会の所掌に属しない事項
- ・総務部
- ・会計室
- ・人権文化部
- ・財務部
- ・監査委員
- ・消防本部
- ・市民生活部

常任委員会	◎委員長	○副委員長	(議席順)
総務	北之防晋次 新居 真 ◎中野 修	○中井源樹 井上和子 大町裕次	<b>福岡正輝</b> 筏 進平 岡本清治
文教	大野妙子 ◎出口文子 ○溝口正美	木村 真 中蔵 功 松下三吾	坂本保子 渡邊 稔 前田雄治
建設水道	弘瀬源悟 白岩正三 上垣純一	神原宏一郎 ○五十川和洋 福本育馬	松岡信道 中島紳一 ◎平田明善
環境福祉	○栗原貴子 飯田武丸 宮地和夫	斉宮澄江 片岡潤子 ◎喜多正顕	児島政俊 岡本重伸 山本正美

### 「新政とよなか」議員団控え室

〒561-8501

豊中市中桜塚3丁目1番1号

TEL 6858-2620(直通)

FAX 6852-2384

自宅

〒560-0082

豊中市新千里東町2-7 C27-1109

TEL 6833-7705

FAX 6831-1281

E-mail ximtechs@dab.hi-ho.ne.jp



## 《豊中をよくする》

「ご意見・アイデア」求めます!

※ 地方分権から地域分権が言われ、「地域を見続けている普通の市民感覚」が求められています。

**一緒に豊中を変えましょう!**

## 四川大地震の教訓を「市立学校耐進化」のスピード化に

中国・四川省大地震で校舎の倒壊が相次ぎ、多くの子供たちが犠牲になりました。その多くは手抜き工事などによる耐震不足が主な原因で、いわば人災だといわれています。そこで気になるのはわが国の実情です。

実態は、右表のとおり豊中市立小・中学校の耐震化は、極めて低く、私は「耐震化率向上に積極的に取り組むべき」とかねてから市に対し主張し続けてきました。

特に一昨年、小・中学校の全教室冷房化が打出された時には、「そもそも政策の優先順位が違ふし、さまざまな理由から全教室冷房化は行うべきではない」と言い続け、街頭で多くの聞き取り調査を実施しました。批判的意見が多い中で女子中学生の「私らはいいけど、豊中市

学校耐震化率 (H19.4.1)	
全国平均	58.6%
大阪府平均	55.6%
豊中市	17.9%

はそんなことしとって大丈夫なん」の意見などに励まされ孤軍奮闘の結果、市は耐震化に優先的に取り組むよう政策変更しました。（中学校は冷房化実施⇒府下3市のみ）

学校の全教室冷房化は市長の公約であり、一部の教職員や保護者、支援する人たちで進められてきましたが、今回の大地震は、政治は決して政策の優先順位を間違ってはならないし、一部受益者の利 那的要求にくみしてはならないという教訓を与えてくれたと思います。

市の耐震化優先への政策変更に一定の評価はしますが、市や市民にとって何が大切なのか、今やるべきことは何なのかを常に考え議会でのチェック機能を果たすことが議員の使命だと考えます。

まずは国の助成措置積み増しを受け「学校耐震化のスピードアップ」に最優先で取り組む決意です。

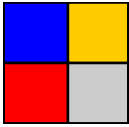
## 府の財政再建プログラムの影響と豊中市が目指す方向性

橋下大阪府知事は「収入の範囲内で予算を組む」と宣言し、この原理・原則を徹底するため、平成20年度は暫定予算とすることを決定しました。そして、聖域なくゼロベースで総点検、見直しを行い発表しました。「財政再建」と「政策創造」、そして「府庁改革」を3つの柱とする、「大阪維新プログラム」の素案をとりまとめ、その後、平成20年度本格予算案とあわせて、7月に臨時会を開き審議するとしています。

府知事のこの決断は、大阪府の各市町村に大きな動揺と混乱を与えています。わが豊中市においても大きな影響を受けており、特に医療費助成、障害者福祉、

高齢者生活支援事業、街かどデイハウス支援事業など社会的弱者に対するセーフティネットの確保は深刻な問題です。

今後、府民の大きな支持を得ている橋本行革プランをどう審議するか、府議会の姿勢が問われることとなりますが、わが豊中市については、市民と直接向き合っている基礎自治体であるため、助成金等が削減されたからと言って、府を悪者にし「ヤーメタ」という訳にはいきません。これまで市の行革の甘さを指摘してきた私としては、府の助成がなくとも必要なものは市単独でも実施する覚悟と財源確保となる行革への取り組みの好機と捉えるべきだと考えます。



## 市民の安心・安全を守る制度の利用を！

### 健康診断を受けましょう

豊中市では市民の健康を守るため様々な施策に取り組んでいます。各種予防接種や市民健康診査、生活習慣病検診、各種がん検診など、年間を通じて実施しています。

詳しくは広報「とよなか」6月号で

(健康づくり推進課)

予防接種 ☎ 6858-2287

各種検診 ☎ 6858-2291

### 悪質商法被害から身を守る

相変わらず詐欺や悪質商法被害が後を絶ちません。青少年から高齢者まで手を替え品を替え、市民が被害者となるケースが多発しています。

「おかしいな、不安だな」と思ったら断る勇氣・無視する勇氣とともに、即決せず相談する時間をとりましょう。

生活情報センター「くらしかん」

電話（専用）06-6858-5060

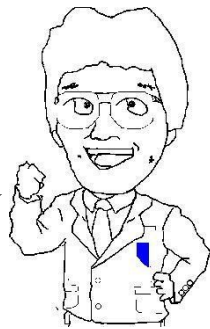
### 多重債務相談窓口を開設

日時	〈電話予約〉月～水曜日 9～12時・13～16時 〈面談〉月～金曜日9～12時・13～16時 祝・休日、年末年始は除く
場所	生活情報センターくらしかん（北桜塚）内
内容	「多重債務問題」解決の為の、弁護士や司法書士への債務整理依頼に関する相談、生活再建に向けた相談ほか
予約電話	☎ 6858 - 6656

※ 定期的に健診を受け、病気の早期発見早期治療に取り組みましょう。

「自分は健康、これからも大丈夫」は決して通用しません。

自分自身に言い聞かせています



### 税込確保とまちづくり

府の財政再建案がクローズアップされていますが、市にとっても抱えている問題は同じです。市内で最大のサービス業である豊中市は、市民に対して「高度なサービスや情報」を提供する責務を負いながら、非効率や財源不足からこれまでの市民サービスを維持するために総額2,000億円以上の借金を抱えています。

私はこれまで行政のムダや高コスト体質是正のため、提言やアイデアを提供し市政改革に取り組んできました。

(一部は実現しましたが、まだまだ不十分)

しかし、これまでの手法やスピードではいずれ行き詰ってしまいます。

これからも、お金の出に対し引き続き厳しく議会でのチェック機能を果たしますが、同時にお金の入についてどれだけの施策を立案・提言し、成果を上げられるか取り組んでいきます。

これまで私は、産業振興・企業誘致を促進する条例制定に取り組み着々と成果を上げてきた事については報告しました。しかし、市が府内三大

ものづくり拠点の一つであったり、空港や高速道路網などの大きな潜在能力を活かしきっているとは言えません。

おりしも空港周辺移転跡地

(国所有の土地12ha:約36,000坪)の処分型土地信託方式による売却や周辺の住工混在地域の整備、空港を活かした「まちづくり」など豊中市の都市経営能力が今後問われることとなります。

産業振興による「雇用創出・まちづくり・税込確保」は市の自立と市民福祉拡大のために何としても成功させねばならない課題です。



## 地域との協働で取り組む「まちづくり」(東町版)

町を歩いていると、ほっとさせられることが多くなりました。子供たちの元気な声や道行く人の立ち話、挨拶・声掛け運動の成果?、それとも町がきれいになってきたからか。アドプトロード(美化清掃)や千里竹の会の活動、また、いたるところで「花を育て咲かせる」活動が目につくからかも知れません。

いま、市の公園愛護会制度の認定を受け、里親たちが愛情と手間ひまかけた



アジサイが「こもれば通り」に咲き始めました。

あなたも里親になりませんか

千里東町公園内の「もみじ橋通り」で照度不足から夜間通行が不安で何とかしてほしい、との要望が女性や高齢者から数多く寄せられていました。

現在、市と連携して地域の方々と公園全体の整備に取り組んでいますが、まず

メゾン管理棟～深谷第3住宅まで防犯灯の照明改善を実施することになりました。



増設や形状工夫のほか、これまでの光源のLED(発光ダイオード)化による温暖化防止や維持・管理費の削減に取り組み、新しい防犯灯のモデルとなるよう取り組んでいます。

### バリアフリー工事完成 (近隣センター)

千里ニュータウンにある12か所の近隣センター(吹田8、豊中市4か所)のうち大阪府タウン管理財団持ち分を全て地元市に無償譲渡するよう要望し実現する事が出来ましたが、詳細部分の詰めに手間取り所有権移転が完了していません。

そうした中で、東町近隣センターバックヤードの工事が実施されました。

この工事に関しては既に決定していた歩道や駐車場整備とは別に、安心・安全の見地から私は、バリアフリー工事の追加と防犯の立場から見通しのよい樹木の剪定実現を大阪府タウン管理財団に地元要



望として交渉し、中岡府議会議員とも連携し実現することができました。

### 「地方議員の役割」とは!

迷走するこの国の政治は景気下降局面を迎え、ますます混迷の度合いを深めています。医療をはじめとした福祉政策の混乱、税制度を含めた「この国のあり方」そのものが問われています。「国から地方・地方から地域」へと分権型社会の到来が叫ばれながら、中央集権の恩恵にどっぷりつかつた「族・集団」の抵抗はさまざまいものがあります。

こうした状況で市民と直接向き合っている地方議員としては、地域の人たちと連携し特定の利益団体やイデオロギーにくみすることなく、「公平・公正・公開」を貫き確実な成果に結びつけることが大切だと考えています。

市民相談にのり、街頭に立ち、市政報告する事が決して議員の目的ではありません。同じ市民相談に無償で取り組む地域役員やボランティアの人たちをサポートし、一人でも多くの市民の安心・安全・幸せを実現してこそプロとしての議員の評価だと考えています。

「地域からこの国を変える」・「政治は結果とスピード」を信条にこれからも走り続けます。